

こどもものまち ミニカワサキ 2021

こどもの こどもによる こどものための ほうこくしょ!
と
わたしたちのこれから

The logo features a white five-pointed star with small white stars at its points and intersections. The text "MINI KAWASAKI" is written in a white, sans-serif font across the center of the star. The entire logo is set against a solid orange circular background.

MINI KAWASAKI



もくじ

- 3_ こどものまちって？
- 4_ ミニカワサキって？
- 5_ これまでのミニカワサキ
- 6_ こどものまちミニカワサキ2021の1ねん
- 7_ 01こども運営メンバー
- 9_ 02こどもまちづくりクラブ
- 11_ 03たちばなフェスにおみせをだしてみた！
- 13_ 04ミニカワごっこ、やってみました！
- 15_ 05オンラインショップ、またやってみました！
- 16_ 06ミニミニカワ、やってみました！
- 17_ 07子どもの権利に気づいた！？
- 19_ 08ミニカワサキをせんでんする
- 21_ こどものまちミニカワサキのこれから！
- 23_ ミニカワサキアンケートって！
- 25_ 事業収支
- 26_ SpecialThanks





こどものまちミニカワサキは、**2018年**にスタートした任意団体です。

ドイツのミュンヘンで40年以上前にはじまったといわれる「ミニミュンヘン」をお手本に、**18歳以下**の子ども達を中心に、まちを考え、子ども達だけのまちをつくり、運営するプログラムです。年に1回のイベント「ミニカワサキ」を運営することを目的にスタートした私たち。

2018年、2019年とたった2回しか開催できないまま、コロナ禍に突入してしまいました。

2020年は会場での開催を早々に断念。できることはないか模索して、やったことないことに色々チャレンジしました。

そして、2021年もずいぶん迷ったものの、やっぱり会場開催を断念。こうした状況は、かえって、こどものまちってなんだろう？わたしたちのできること、わたしたちの目指すこどものまちってなんだろう？考えることにつながりました。

わたしたちの2021年の1年間をぎゅっとまとめました。そしてわたしたちのこれからへの想いも詰め込んでいます。

こどものまちって？

「こどものまち」はその名前のとおり、**子どもだけで「こどものためのまち」を企画運営するプログラム**です。ドイツのミュンヘン市で1979年に初めて行われた“ミニミュンヘン”をモデルにしています。

子どもたちが「市民」として登録され、まちの中で「仕事」をして、稼いだ通貨をまちの中で「使う（消費する）」のが基本のしくみです。

日本では200カ所以上で開催されているといわれています。職業体験、ものづくり体験、自治・共同体験など、**遊びながら学ぶ**ことができるため、プログラムを支援する大人の想いや、運営関わる子ども自身の想いや願いによって、まったく違うまちがつくられていきます。正に、現実の「まち」と同じ！



市役所で市民登録！

受付で、市民登録をすると、市民証がもらえます



学校

まちに入る前に、まちのルールを勉強するために学校に入学



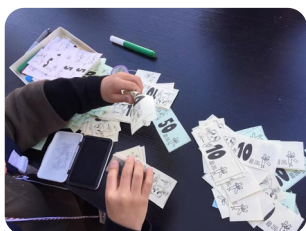
まちであそぼう！

いろいろなお店にたちよって遊ぼう！
買い物、ゲーム、製作…



職業案内所

あそびたくてもお金がない…
そんなときはお仕事をしてお金を稼ごう！
職業案内所で仕事を探します



銀行

仕事をしたら銀行にいこう！
お給料をもらって、税金を納めます



まちで仕事をしよう！

すべてのお店で仕事ができます。
いろいろな仕事を体験しよう！



選挙

まちのリーダーを決める
市長選挙をやることも
あります！投票しよう！

ミニカワサキって？

ミニカワサキは、2018年3月に横浜市都筑区で開催されていた「ミニヨコハマシティ2018」を見学に行った大人が、川崎でもやってみたい！と考えたのがきっかけではじまりました。ミニカワサキは大人と子どもの協働プロジェクトです。4つの目的があり、みんなで少しずつ実現を目指しています。

①シビックプライドの醸成

「まちって何だろう？」身近だけど意外と向き合わないテーマである「まち」。「まち」は何でできているのか？なにがあれば「まち」なのか？ミニカワサキは、「まち」を考えるとところからはじまります。自分のまちを知る、関心を持つことで、自分のまちを好きになる子どもを増やします。

②多世代・国際交流

現代は家族以外に話す大人が学校や塾の先生だけという子どもが増えています。でも、小さいころから色々な大人に関わることは、子ども達の視野を広げることに繋がります。ミニカワサキでは、世代や国籍などを超えたコミュニケーションの機会を生み出します。

③共育

今、社会には答えのない課題がたくさんあふれています。大人が子どもに正解を教えるという時代ではなくなり、大人であっても子どもであっても自分なりの答えを探し、伝えあって共有し、協力していく力が求められます。ミニカワサキでは、大人と子どもが協力して育ちあう機会をつくります。

④ソーシャルキャピタルの醸成

ミニカワサキでは、川崎のまちづくりや子育てに関心を持っている方々を繋げ、緩やかな水平の人間関係を育むことを通して、まちの底力を向上させます。人の繋がりは何よりも大切な財産であると考えています。

大人は口出し禁止！立ち入り禁止！

4つの目的を達成するために、ミニカワサキには「**大人口出し禁止**」というグランドルール（全員が守る大事なルール）があります。ミニカワサキ当日、こどものまちエリアには、**大人は立ち入り禁止**です。また、準備会議も含め、子ども達の活動に**大人が口出しすることも禁止**です。**大人が口出しをしない環境で、のびのびと過ごす自由や権利、遊びを通して学ぶ権利を守ることを大切にしています。**



2018年に、大人の「やりたい！」からスタートしたミニカワサキ。口出しをしない、子ども達の想いの実現を全力で支えるということを大切にしていたのですが、準備のための会議は、大人だけで行っていました。でも、3年目を迎えた2020年の春から、準備の段階から子ども達と一緒にやるスタイルに変えることにしました。「こども運営メンバー」は、大人と一緒に、全体の運営、仕組みづくり、広報宣伝、渉外など、何をやるのか、どうやるのかを話し合います。**子ども達と大人は同等の決定権を持つことにしました。**

これまでのミニカワサキ

ミニカワサキは、2018年3月に横浜市都筑区で開催されていた「ミニヨコハマシティ2018」を見学に行った大人が、川崎でもやってみよう！と考えたのがきっかけでした。

1年目

大人も、子どもも、初めてのミニカワサキ！「まちってなんだろう？」「どんな仕事があるんだろう？」などから考えて、どんなお店をやりたい？という会議をやりました。

2018年6/17（土）川崎でこどものまちをやってみよう！実行委員会キックオフ

2018年10/7（日）～8（月・祝）

第1回こどものまちミニカワサキ開催（会場：川崎市民プラザ）

こども実行委員30名、大人実行委員18名、参加者1日目150名・2日目200名



2年目

まちを準備するこども実行委員メンバーがぐぐっと増えて、1年目を知っている子と知らない子が協力してまちをつくっていきました。1年目で出た課題をいかして、困ったことがすくなくなるように工夫しました。屋外での開催、青空マーケットのような開放感の中開催することができました。

2019年11/16（土）～17（日）

第2回こどものまちミニカワサキを開催（会場：川崎市国際交流センター）

こども実行委員50名、大人実行委員29名、参加者1日目116名・2日目160名



3年目

新型コロナウイルスの影響で、会場開催をすることができませんでした。けれど「できないから仕方ない」で終わらせないのがミニカワサキ！どうにかできないかと考え、オンラインショップやマイクラフトでミニカワサキを実現しました。

2020年11/21（土）～12/6（日）

第3回こどものまちミニカワサキを「オンライン」で開催

こども実行委員18名、大人実行委員9名

期間中オンラインショップへのアクセス数5,378回。



こどものまちミニカワサキ2021の1ねん

大人運営
メンバー

こども
運営メンバー

イベントなど

こども
まちづくりクラブ

2021年活動どうする…？準備期間

4/26大人会議キックオフ

5/16 運営カイギ①

5/30 運営カイギ②

6/20 運営カイギ③

6/6まちづくりクラブ募集開始



がっつり活動期間！

7/17 たちばなフェス

7/19 運営カイギ④

7/19こどもカイギ①

7/31 臨時運営カイギ

8/22 運営カイギ⑤

8/21ミニミニカワ

8/22こどもカイギ②

9/10, 12 臨時運営カイギ

9/19 運営カイギ③

9/28 かわさきFM

9/19こどもカイギ③

10/10 ミニカワごっこ

10/17~11/10
オンラインショップ

10/24 キッズマネーWS

11/6こども権利条約フォーラム

11/21 報告会

2022年へ向けて！ひきつぎ期間

1/10, 30, 2/5, 12報告書カイギ

2/23ミニカワ2022なにしてようカイギ

すべてのカイギはオンラインに対応し、体調不良や不安のある場合はオンライン参加可能としました。

01

こども運営メンバー

子どもと大人が協働する「ミニカワサキ」。

ミニカワサキの全体を支えるために「大人運営メンバー」と「こども運営メンバー」が一緒に運営カイギをすすめていきました。

こども運営メンバーは、ミニカワサキで「まちづくりクラブメンバー」として活動したことのある子どもを対象に、応募してもらい、10名でスタートしました。大人運営メンバーと同じカイギの席につき、**全体の運営、しくみづくり、広報宣伝**などを担います。なかでも、こども運営メンバーの大きな役割は、「**こどもまちづくりクラブ**」の運営です。新しくミニカワサキをつくるために集まる子ども達を、いつ、どのように、何人募集するのか？集まった人たちとどんなカイギをしてミニカワサキを実施するのか？などを相談しながら決めていきました。また、**子どもの目線でミニカワサキの魅力を発信**するため、広報の大きな部分を担当しました。

大人運営メンバーは、助成金や協賛金の申請や、講師などとの事前打ち合わせ、会場の予約、物品購入、会計などの事務面を支えました。「**よかれとおもって大人が勝手に決める**」ことをできる限りなくす、**決定権を同等にすること**を目指して、大事なことは子ども運営メンバーに相談しながら進めていきました。

2021年度こども運営メンバー（小学5年生～中学1年生）

糸井 優貴、大城 太耀、岡橋 未紗子、奥園 結子、鹿野 琴音、鈴木 佑理、高橋 英雅、奈良部 凌人、菱倉 なごみ、町田 里紗

全体の準備をすることも運営メンバーの活動

5/16 第1回運営カイギ

大人から本番日程案（10/23、24開催予定で場所を確保）や予算・助成金の状況を説明。**今年の目標は「会場開催！」どんなカタチでも、会場で開催をあきらめない**と決めました。

また、**まちづくりクラブ募集人数や募集の仕方を相談**しました。子ども達が自分で応募できるようにするには？SNSは子どもは見るかな？…議論は終わらず、5月中にもう一度カイギをすることに。



5/30 第2回運営カイギ

こどもまちづくりクラブメンバーの募集対象や募集方法を決めました。今年のキャッチフレーズをあいうえお作文で

「**みんな にこにこ かいじょう わくわく**」に決定。そしてさっそく、7/17に「**たちばなフェス**」へ出店することを決めました。



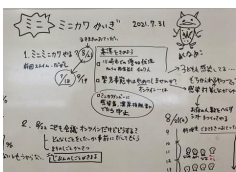


6/20 第3回運営カイギ

6/6から公募をはじめたこどもまちづくりメンバーの選考カイギ！応募はまだ13名…なかなか広報は難しい。こどもまちづくりクラブの4回のカイギで、何を伝えよう？4回の構成と、1回目のタイムスケジュール、次へ向けた宿題を考えました。これがけっこう難しい！！7/17の「たちばなフェス」で何のお店をやるかを決めました。

7/19 第4回運営カイギ

夏休みに入った子ども達。7/17たちばなフェスの振り返りをしました。夏休み中に、リハーサルを兼ねて、もう一回くらい小さなミニカワサキ（ミニミニカワ）をやるかどうか考えました。暑かったね…疲れたよね…夏に外でやるのは暑すぎるといこともわかりました。



7/31 臨時運営カイギ

コロナの感染が増え、8月から神奈川県に緊急事態宣言が出るのが発表されました。それでもミニミニカワをやる？なにを？どうやる？を相談しました。

8/22 第5回運営カイギ

このころ、コロナの感染が広がっていました…10月に予定している2日間の会場開催ができなくなる可能性がでてきました。9月末には開催チラシをつくって配る必要があり…迷います。

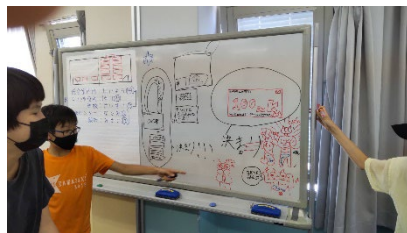


9/12 臨時運営カイギ（オンライン）

緊急事態宣言が延長され、予定していた会場から会場開催中止検討の依頼がきました。あくまで「中止の検討」だけど…自動的に中止を決めるのではなく、子どもと大人でこの状況を共有しました。小さい規模でもできないか？いや、やるなら大きくやりたいから、中止はしょうがないよ…意見を出しあい、予定していた会場での開催の中止を決断しました。

9/19 第6回運営カイギ

「ミニカワごっこ」の流れ、まちのレイアウト、つくるものや購入するものを相談しました。ミニカワサキの通貨「ミニK」のデザイン、色を決定。市民証やJOBカード、入場門のデザインなども決めました。



次の年をどうするか…にも関わりました

1/10助成金相談カイギ、1/30,2/5,2/12 報告書カイギ

運営メンバーは、報告会で終了ではなく、来年度の助成金にどんなことを盛り込むか？報告書に何を書くかを4回にわたり相談をしました。

02

こどもまちづくりクラブ

昨年、2020年度にできなかったことのひとつが、この「こどもまちづくりクラブ」の子どもカイギでした。

「こどもまちづくりクラブ」とは、こどものまち当日の店長さんになる人達です。それぞれ、子どものまちでやってみたいお店、つくってみたい商品がある人が集まってきます。

コロナ禍で、イレギュラーな活動になった2020年は、新しいメンバーと、コロコロと判断を変えなければならない活動をするのがむずかしくて、2018年、2019年を一緒に過ごした子ども達の中からしか募集ができなかったのです。

最初の運営カイギの日に、「ミニカワサキの活動を広げたい！そのためには新しい人達に仲間になってほしい。自分達の友達やきょうだいでいいじゃない人に」と決めました。

15人の「こどもまちづくりクラブメンバー」

2018年、2019年の会場開催に来たことがあって、ミニカワサキのメンバー募集を楽しみにしていたくれた人が何人も集まってくれました！

子どもカイギの司会はこども運営メンバー

子どもカイギは、子ども達で進行します。受付、司会、書記など、子ども達ですすめていきました。アイスブレイクのレクリエーション、おやつの買い出しも、みんなで手分けしました。



2021年度こどもまちづくりクラブメンバー（小学3年生～中学1年生）

大城 明莉、鹿野 郁未、久保島 綾音、久保田 慧介、袖山 晴貴、
高柳 凜子、根岸 拓未、林 咲李、林 房之介、堀内 翔、
堀内 杏、町田 菜々、村上 駿介、森田 そら、森田 晴空



7/19 第1回こどもカイギ 「まちって何？仕事って何？」

運営メンバーの大人も入って、自己紹介ゲームからスタート。「まち」って何？「まち」にどんなものがあるといい？と意見を申しあげました。「まちは、みんなが快適に工夫されたところ」こどものまちにあってほしいこと「何をやっても怒られないこと」…なんて意見も。

「仕事」って何？という質問には、「みんなが楽しく暮らせるようにするため働くこと」「まちのためになることをすること」などの意見が。運営メンバーの大人はどんな仕事をやっているのかを聞いたら、「カウンセラー」、「デザイン」、「銀行」…などが返ってきました。仕事って、子ども達がおもっているより色々あるな。次回は、自分のやりたいお店や仕事を考えて持ちよることになりました。

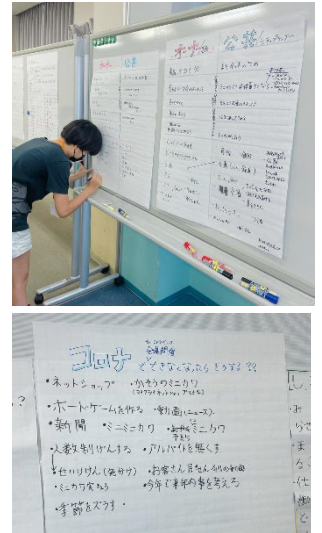


8/22 第2回こどもカイギ「自分のやりたいお店」をだしあう

コロナ感染が広がり、神奈川県には緊急事態宣言がでていました。そのため、午前と午後の2チームにわけてカイギをしました。

宿題で考えてきた「自分のやりたいお店！」を出しあいます。自分で作ったものを売るお店、くじ引き屋さん、学校、大工、お菓子屋さん…いろいろなお店の案ができました。そのあと、子どものまち全体のことを考えて、これがないと困りそう…大人のまちにはなくて、こどものまちだけにあったら楽しい店や仕事も、出しあいました。自分のやりたい店を改めて考えて、その仕事が「オーナー」なのか、「公共（シティプランナー）」の仕事なのかも考えていきました。

最後に、コロナ感染が広がっていることから、**10月の会場開催ができない可能性があることを共有して、できなかつたらどうする？**の意見を出しあいました。



9/19 第3回こどもカイギ 会場開催中止、代わりに…!

緊急事態宣言が延長になり、**運営カイギで会場開催の中止を決めたことを共有**しました。代わりの企画として、次のカイギの予定日10/10に、自分達だけでお店とお客さんを交代で**小さいミニカワサキをやってみよう!**という「ミニカワごっこ」をすることにしました。

そのほか、昨年と同じように「オンラインショップ」も準備することに。自分で作ったものを売りたい人は、オンラインショップもできます。

10/10にやりたいお店、準備する商品などを相談・確認して、それぞれ準備をすることにしました。

10/10 第4回こどもカイギの日 ミニカワごっこ!

ミニカワごっこについては、P13「ミニカワごっこ」をみてください!

11/20 第5回こどもカイギ ミニカワサキ2021報告会

みんなで集まって、報告会をしました。「ミニカワごっこ」ができてよかった、そして「よけいに大きな会場でやりたくなかった!」という意見が出ました。来年は! やろうね!



今年は会場開催にこだわる！と決めた子ども達に、
2018年にミニカワサキを支えた大人スタッフのひとりから
「たちばなフェス」※への出店をしてみない…？と声がかかりました

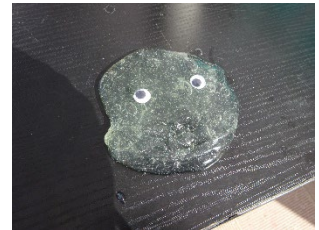
夏休み初日の土曜日、地域の公園のフェスへの出店！

大人も初めての経験、でも、やる？といわれたら、やる！とこたえよう！
こども運営メンバーが話しあい、駄菓子屋さんと、スライムづくりのワークショップ、
そしてミニカワサキの広報をするために「ミニカワ学校」をやることにしました。
2021年7月17日。朝10時から16時まで、超晴天、炎天下の一日でした！

※「たちばなフェス」は、「橋公園」の敷地で 2021年7月の
1カ月間行われた公園緑地活用のための社会的実験



受付や会計も子ども達でやりました。
ミニカワサキの通貨「ミニK」ではなくて現金！テンション上がる！



スライムづくりワークショップは大盛況
長蛇の列ができてびっくり！
小さい子に教えるのは大変でした。
ラメやめだまをつけてくれる人も多くて
オプション考えておいてよかったー！途中で
材料が足りなくなって、大人が買いに走る！

駄菓子屋さんは、目玉商品「みずでっぼうくじ引き」
が大人気でした！時間が進むほどにリピートしてくれ
るお客さんがいることに気づきました。7回もくじを
引いてくれた中学生がいました！

**セット販売、駄菓子釣り…と進化を続け、
用意した駄菓子を売り切りました！**



あまりにのお客さんの多さに対応に必死で、ミニカワサキを広報する
「ミニカワ学校」をする元気は残っていませんでした…



仕入れも子ども達で

子どもが欲しい駄菓子は、子どもが仕入れた方がたのしそう！コロナのため地域の夏祭りなどが中止が相次いでいる中、地域の夏まつりをやったことがある大人が駄菓子問屋を教えてくださいました。1万円の資金で、なにを、どのくらい仕入れて、いくらで売るのがか…？子ども達だけで考えました。

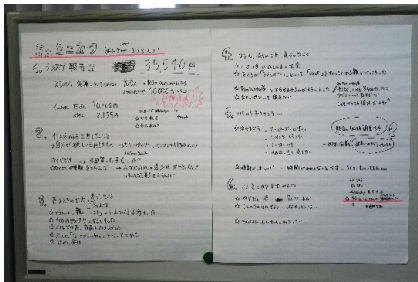
試作と値付け

スライムのワークショップといっても、1人あたりどのくらいの分量でつくってもらいたいだろうか？計量カップで測りながら、いろんな量でつくってみます。小さい子が来ても教えられる？1人あたりどのくらい時間がかかるだろうか？色の付け方、オプションのラメはどのくらい入れる？目玉は何個まで？みんなで試作をして、値段をきめました。



振り返り！

7月19日の運営カイギで振り返り！
総売り上げは35,540円！
駄菓子の仕入れ、スライム材料に13,206円
収益は22,334円にのぼりました
またやりたい…？いや、暑かった…。



一万円で駄菓子を買ったのは初めての体験でした。メンバーと一万円札を持った時はとてもわくわくしました。2~3,000円のお菓子を買うだけでも充分なのに、一万円もあれば逆にいらなくらい大量にお菓子を買えてうれしかったです。

しかし、お菓子を買うのには大変なこともありました。それは、ちょうど一万円になるために計算したり、買う商品を考えてたりすることです。どのような商品をみんなが買ってくれやすいのか、どのくらい買うのか、合計金額はいくらになるのか、メンバーと慎重に話し合いながら決めました。

買った後は、いくらで売るのがか、利益はいくらか、考えながら貴重な体験をすることができました。（記事担当：ゆり）



04

ミニカワごっこ、やってみた!

10月10日(日)、第4回こどもカイギの予定だった日。
場所は、いつも会議の場所として使っている川崎市国際交流センターの玄関前広場です。



朝から設営する予定が、
なんと雨…!
午後からやむ予報だし、
急遽部屋の中で準備!



11時頃になって…
晴れてきた～! 外に材料を運び出します



まちのレイアウトは
こんなかんじ!! よっしゃー!



まちができてきました…!

さあ、ミニカワごっこ、スタートしよう!

お客さん…は来ないんだっけ??
え?今日は「ごっこ」っていったじゃん。
広報もしてないもん。
え?

でも、こんなに準備したし…
お互いにお客さんしてたら、お店屋さんがいなくなるじゃん!
それもそうだ…
よっしゃ、道行く人を呼びとめて…「こどものまちやっています!!」
ゲリラ的に、ミニカワサキがスタートしました!
大人はあわてて、受付とお釣りを準備!

こどものまちの雰囲気動画を撮影して広報に使うため、できる限りのフルセットを用意したこの日。タウンニュースさんの取材や、市役所の方、他のこどものまちの方などの視察が来ました。



こどもリーダーが、視察の皆さんにまちを案内したり、取材の対応をしました。
「大人口出し禁止」のミニカワサキ！大人には口出し禁止の“バッテンマスク”を付けてもらいました



ミニカワがっこう
まちの過ごし方を学びます



デコ文具「デコりな」



コロナ対策グッズ
「たいさくや」



手作り雑貨「季節堂」



ミニカワカフェ



ゲーム屋さん



フェイクスイーツ工房
人気お店投票No.1に輝きました



アイロンビーズ「林建設」



マグネット屋さんは
ゲーム屋さんに…!?



区役所から本物の投票台・投票箱を借りてきて…
人気お店投票をやりまし



ぼくが2021のミニカワで思い出に残っているのはミニカワごっこです。とくに心に残ったのは2つあって、その1つは、川崎市の職員の人たちのミニカワごっこの町の案内と取材を受けたことです。この職員のひとたちは取材したものをYouTubeに上げるために来ていました。学校の場所から町のお店を一個ずつ紹介してこの日の感想や、今後の意気込みを話しました。そのあとYouTubeに上がったときにみて、とても嬉しくなりました。

2つ目は、その日ミニカワごっこ人気選挙をやったことです。これは、その日にやることに決まってやることになりました。これもミニカワのやりたいことを全力で大人がサポートしてくれるというミニカワのいいところだと思います。この選挙では、思ったよりたくさんの方が投票してくれて嬉しかったです。（記事担当：たいよう）



昨年やったミニカワサキオンラインショップ。

昨年やむを得ずやることになったものの、遠くに住んでいるおじいちゃん、おばあちゃんやお友達が買ってくれたこともあり、**直接会場に来られない人にもミニカワサキの想いを伝えられる**、と初めからアイデアとしては出ていました。

オンラインショップは、**クレジットカード決済が必要で、子ども自身を買うことができません**。それでも、**たくさんの人に活動を知ってもらえるきっかけにしたい**、と今年も開店しました。昨年と同じく、BASEというオンラインショップのしくみをつかい、大人が出店を支えました。

オンラインショップを出店するために、お友達を呼びこんで少し出店者をふやしました。オンラインショップでの「**値段のつけ方**」や「**商品の考え方**」を教えてください、と今年も開店しました。昨年と同じく、BASEというオンラインショップのしくみをつかい、大人が出店を支えました。



オンラインショップに出店したお店たち



季節堂
手作り雑貨



KUSU
くす玉チャーム、
アクセサリ



林建設
アイロンビーズ
雑貨



マグネット屋さん
くるみボタン
マグネット



たいさく屋
手作りモップ



フェイススイーツ工房
手作りチャーム



編み物工房
手編みシュシュ



Shop Shu
手編みマフラー
クリスマスオー
ナメント



あかりリース
手作りリース



**みんなの
マグカップ2021**
オリジナルデザイ
ンマグカップ

ネットショップの成果

開設期間：2021年10月17日～11月10日
 期間中閲覧数：5,228名
 販売数：205点
 売上：69,000円

ミニミニカワ、やってみた!

ミニミニカワは、「今年どんなカタチでも会場開催を諦めない」と決めた時に生まれたアイデアでした。

※「たちばなフェス」も当初はミニミニカワのひとつという考え方でしたが、なんせ思ったより規模が大きくなったもので…本報告書では別に取り上げました

実際には、毎月第3土曜日に、川崎市国際交流センター玄関前広場で行っている子ども食堂「まきまきキッチン」さんのスペースの一部を使わせてもらい、10時から14時まで、お店を出してみたい人がお店を出す、という活動になりました。

8/21 ミニミニカワvol.01

8月1日から、神奈川県に緊急事態宣言がでていたので、参加したい人だけ集まりました。

「たちばなフェス」の振り返りをした時に案が出ていたスーパーボールすくいとしゃてき屋さんをやりました。



とても暑くて、午前中は子ども食堂の方にもお客さんが立ち寄っていましたが、午後からは客足が少なくなり…やっぱり夏の外は暑い～ それでも、しゃてき屋さんのまとや、スーパーボールをすくうスプーンが、**短い時間で進化を続けていました!**

「たちばなフェス」の時にできなかった「ミニカワがっこう」をやってみよう!と、子ども食堂のスタッフの皆さんを相手に、ミニカワがっこうの紙芝居を使って、**ミニカワサキの紹介**をさせてもらいました。

11/19 ミニミニカワvol.02

11/10までやっていたオンラインショップで販売していた商品の残りを、対面でも売りたい!とやることになりました。通りかかった近所の方が、「丁寧な手作りがステキ!!」とたくさん買ってくれたり、子ども食堂のボランティアに来ていた大学生のお姉さんたちがアイロンビーズのピアスを買ってくれたり…「こどものまち」には子どもだけしかいないけど、大人に現金で売ることができて、**上手だね! すごいね!**という**てもらえた**のも、いい経験になりました。



07

子どもの権利に気づいた!?

2018年にこどものまちミニカワサキをスタートした時、当時の大人スタッフは川崎市の「子どもの権利に関する条例」のことをほとんど意識していませんでした。**ただただ、こどものまちというプログラムがおもしろそう**で、**大人も子どものようにワクワクして、楽しくてやってみただけ**でした。

でも、2018年の開催準備の段階から、川崎市には「子ども夢パーク」の「夢横丁」、麻生区にある田園調布学園大学で「ミニたまゆり」など、「こどもがまち」のとりくみの事例があること、川崎市役所に「子どもの権利」を支援する部署があること、子ども会議、地域教育会議、子ども会などが連携して、子ども達を支えるしくみがあることなどを知ることになりました。

2018年の開催が終わったあと、参加した子ども達から「またやりたい!」「次はこんなお店がやりたい!」「自分のやりたいことが、大人口出し禁止だったからできたのが楽しかった!」という言葉が飛び出しました。そして、毎日のように“次のミニカワサキは…”の話が止まらなくなった姿をみました。

普段の生活の中で、子どもたちがいかに大人の口出しを受けているか。自分の意見を言っているようで、言えていないのか。ミニカワサキで「大人口出し禁止」のルールを掲げた時は、「インパクトがあっておもしろそう!」という想いが先行していました。ただ、一切口を出さないわけではなく、このルールが掲げられることによって、**ちょっと待ってみよう、まずは聴いてみよう、という心構えに繋がったのは確か**でした。たったそれだけな気がしたのだけど、もしかしたら、これはすごいことに気づけたのかもしれない。

だんだん、この「こどものまちミニカワサキ」の活動が、川崎市の掲げる「子どもの権利に関する条例」と照らし合わせて、特に『子ども参画』という点で親和性が高いことに気づきはじめました。

2021年春から、2021年11月に川崎市で開かれる「子どもの権利条約フォーラム 2021inかわさき」の実行委員会に子どもメンバー、大人メンバーの中から一人ずつが実行委員会に参画しました。11月6日のフォーラム当日は、オープニングで行われたトークセッション「子ども達が語る子ども参加のいま」、運営メンバーのふたりが登壇しました。「子どもの権利」の普及促進を目的にする子ども団体が多い中で、遊びながらやっている活動がそのまま子ども達の権利を守る活動になっている!という発表をすることができました。そして、川崎市で長年子どもの活動をつづけてきた大人の皆さんにも、アピールすることができたように思います。

**楽しくてやっている、その活動が注目してもらえること。
「子ども参加」の切り口の一つとして見てもらえたこと。**

子ども達にとっても、大人にとっても大きな気づきになりました。
(記事担当: 大城英理子 (おとなスタッフ))





11月6日の「子どもの権利条約フォーラム2021inかわさき」のトークセッションは、すくらむ21の大きな舞台でおこなわれました。

コロナ禍で久しぶりの大きな会場！ドキドキの中、なんと壇上で、川崎市の福田市長に、「ミニカワサキ」の活動を紹介するチラシを手渡し！

2022年1月19日、子どもの権利条約フォーラムでのつながりから、「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」が主催するトークイベント「子どもたちと語る いま、子どもの権利をひろげるために大切な4つのこと」に、こども運営メンバーのひとりが参加。ここでも「おとなと子どもの境目をつくらず、話しあいながらまちづくりをしている事例」として、ミニカワサキを紹介しました。



※4つのこと、とは…

- ①子どもの権利条約を日本中にひろめる
 - ②子どもの声を聴き、子どもとともに行動する
 - ③誰ひとり、子どもを取り残さない
 - ④子どもに対する暴力をぜったいにゆるさない
- 詳しくは、左記のQRコードから「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」のページをみてみてください！

2022年2月20日、「川崎市子ども集会」に、こども運営メンバーのひとりが参加。川崎市子ども会議や、各区の子ども会のみなさんと一緒に、子どもからの川崎市長への提言する内容について、議論をしました。川崎市の中で、積極的な活動をしている子ども団体のみなさんにも、ミニカワサキの魅力伝える機会になりました。

※川崎市こどもの権利に関する条例、とは…

2001年4月1日に、日本の自治体で初めてつくられた子どもの権利条例です。

「子どもはおとなとともに社会を構成するパートナーです」と語られています。

7つの柱

- ①安心して生きる権利
- ②ありのままの自分でいる権利
- ③自分を守り、守られる権利
- ④自分を豊かにし、かづけられる権利
- ⑤自分で決める権利
- ⑥参加する権利
- ⑦個別の必要に応じて支援を受ける権利

詳しくは、左記のQRコードから「川崎市こどもの権利に関する条例」をみてみてね。



**むずかしいことはわからなくても、
ミニカワサキはこのままもっとたのしくやっていけばいいんだ！
ということをしりました！
たのしく、こども参加をふやしていく活動をつづけていきます！**



ミニカワサキをせんでんする

ミニカワサキでは、2020年から、**子ども達の目線で感じるミニカワサキを、子ども達自身が発信**するようにしてきました。取材やインタビューの機会には、子ども達が直接こたえています。**SNSや、YouTubeなど、直接多くの人の目に触れるでの発信は、大人を介して発信**しています。大人としての意見や想いは、大人自身が発信をします。

2021年広報のキロク

- 7月 たちばなフェス開催へ向けてSNSでカウントダウン
- 7/12 プレスリリース（川崎市役所記者クラブ投函）
「4年目となるこども会議スタート」
- 7/17 ミニカワしんぶん！たちばなフェス特別号発行
- 8/20 タウンニュース中原区版掲載
「ミニカワサキ知って 8/21ミニミニカワサキ開催」
- 9/28 かわさきFM「かわさきDOWN STREAM」生出演
- 10/10 ミニカワしんぶん！ミニカワごっこ特別号発行
- 10/17 ミニカワしんぶん！第9号「オンラインショップの紹介」
ミニカワサキポスターと共に川崎市内こども文化センター他の施設へ配架
中原区、高津区の小学校全校配布、多摩区小学校・中学校一部全校配布
- 10/22 タウンニュース中原区版掲載
「こどものまちを撮影 10/10ミニカワごっこ、オンラインショップの紹介」
- 10/22 かわさきFM「こすぎスイッチオン！」生出演
- 11/6 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき 登壇
- 11/20 川崎市コミュニティチャンネル（YouTube）掲載
川崎の素敵な【まちのひろば】ミニカワサキ編
- 1/19 広げよう！子どもの権利条約キャンペーン トークイベント登壇
- 2/3 ミニカワサキプロモーション動画をHPで公開
- 2/20 川崎市子ども集会 参加
- 2/18 タウンニュース中原区版（Web限定記事）
「プロモーション動画を公開」



SNS発信のサムネイルを作成！

子ども達がつくった素材を、大人が発信！



動画チームはミニニカワサキを紹介するYouTubeを作成！



子ども達が自分達でつくった動画を、YouTubeで公開しています。カイギのようす、イベントのようす、是非ご覧ください



YouTubeミニニカワチャンネルへ

かわさきFMの生放送に出演！

9/28 かわさきFM「かわさきDOWN STREAM」に子ども達が生出演。木曜日の夕方17時、学校が終わったあと自転車で武蔵小杉駅前にあるかわさきFMのスタジオ前に集合！子ども達3人だけで生放送に出演しました。

パーソナリティ宮下敏子さんご自身が、ミニニカワサキが発信したのTwitterとフェイスブックを見て「番組の出演して活動を紹介しませんか？」とメールをくださったことで実現した生出演！たくさんミニニカワサキへの想いを語らせてもらいました！



3万枚のチラシをわけわけ…！チラシを配るって大変！！

たくさんの人に知ってもらうため、チラシを配ればいいじゃん！というのはかんたん。たくさんの人に届けるって、機械が自動でやってくれるわけじゃないまじかー！めっちゃあるー！！みんなで手作業で分ける作業をやりました。



私はタウンニュースやかわさきFMでミニニカワサキのことをしゃべってみて感じたことがあります。それは、ミニニカワサキを通して色々な職業を体験できるということです。例えば、しんぶんを書いたり、ラジオに出たり、インタビューをしたりされたりと、普段ならなかなかしないような体験がたくさんできます。おとなと共にっくっていただけではなく、自分の可能性を見つめられるのが、私はとても良いと思っています。これからもたくさんの方々のメディアでミニニカワをせんでんしていきたくです！（記事担当：ゆうこ）

こどものまちミニカワサキのこれから！

ミニカワサキのおもしろいところ、これからやりたいことをみんなでだしあいました！
いっしょにやろう！ミニカワサキ！

「おとな口出し禁止」のルール＝自分で決められるのがいい！ このルールはこれからもつづけていきます！

自分で好きなようにまちのしくみを決められるのがいい
ルールやしぐみからきめられることって学校とか習い事とかでもあんまりない。
途中で意見を出しあって変えていくことができるのもおもしろい



大人が口出ししないで好きなものを買える！

いつもお祭りとかにいても、お母さんや、お父さんに
「これはだめ！」とか、「これはいらないよー」とか言われて
たけど、ミニカワだと自分の好きなものを、好きな数買える！



「おとなとの共同事業」＝おとなが話を聞いてくれる！ こどもにも、おとなにも、いい気づきをくれます みんなでもっと深めていきたいです

大人と一緒に考えられるのがおもしろい

大人に「大人だけじゃ思いつかなかった！ありがとう！」といわ
れて嬉しかった！話を聞いてくれて、全力できぼうをかなえよう
としてくれるのがいい。大人に相談してみようっておもえる。



大人と一緒に作っていくところが好き！

「大人だけで仕組みを考えて子どもにやらせる」のではなく、こどもと
おとなが協力して仕組みを作っていけるということが気に入ってる！



ミニカワサキをやってるから、大人になっても大丈夫でしょ！と思える！
いろんな仕事を体験できるし、試してみてるから、好きな仕事ができる。



こどもってすごいなって思える！

こどものポジティブさにびっくりする。やると決めたらやっ
てのけるんだよね！どんどんできるようになるし、上手くな
るし。大人の方が教えてもらうことも多い。（おとな）



子ども達のいい顔が近くで見られて、元気をもらえる！

自分の子だけじゃなくて、いろんな子が工夫しあって、発見してたり、
できるようになってたり、すごくいい顔するんだよね！（おとな）



こんなミニカワをやってみたい！ 「こどものまち」をひろげていきたいな！

「泊まりのこどものまち」をやりたい！

ご飯も自分たちで作りたい。宿泊の案内とかもして、ホテルコンシェルジュみたいなやりたい！夜のこどものまち、たのしそう！



ふたつまちをつかって、対決させたい！

「ミニカワ市長」のやくめがまだはっきりできてないから、それをはっきりするために、ふたつまちを同時ににつかって、それぞれに市長をつけて、市長の政策対決！おきゃくさんにも、どっちのまちが好きか？とか、売上とか、参加者人数とかで対決させてみたい



「つくって」売りたい！

もともとある商品じゃなくて、つくって売りたい。ワークショップとかもいいし、食べ物とかその場でつくって売りたい。スイーツ系、ケーキとかドーナツとか。ごはんだと、カレーとかからあげとかもやりたい！ていうか食べたい！



いろんな場所でできたらな

学校でやりたい！教室をつかったり、体育館ではゲームをやりたい。等々力競技場みたいなひろいところもいい。駅前の商店街とかも、がやがやしていてももしろそう。



「こどものまちのつくり方教えます」をやりたい！

こどものまちをやりたい人達のところに、ミニカワのこども運営メンバーが行って、こうやるとこどものまちができますよ、たのしいですよ！というのを教えたりしてみたい！

そうやって増えたいろんなこどものまちで遊んでみたい！



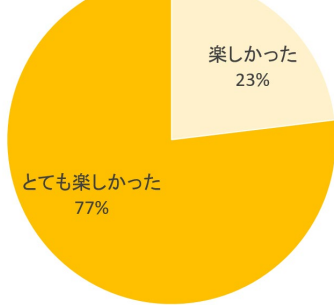
どこのまちでもあたりまえになったらいいな！

「まち」は人が集まって暮らす場所にはどこにもあるから、子どもとおとなと一緒に協力して暮らしていくことを考えるのに、「こどものまち」をつくるプロセスは役に立ちそう。

遊びながらだから楽しいし、遊びだからこそ大人が口出しし過ぎない、というのもいい。「社会科」とか「総合」の授業の一環で、まちたんけんとセットで学校でもやったらおもしろいかも。どこのまちでも、「こどものまち」をやるのがあたりまえになるといいな。（おとな）



こども運営メンバー 参加満足度は100%

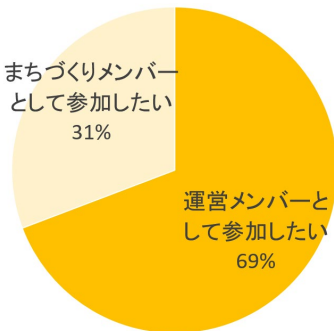


こども運営メンバーに、参加してどうでしたか？とたずねたところ、回答者全員が「とても楽しかった」「楽しかった」と答えました。

理由は、▼本当のお金で販売したとき、女子高生たちが可愛いと言ったり写真を撮ってくれて嬉しくて楽しかった▼お店やネットショップで自分の作ったものが実際に売れて買ってくれる人がいてうれしかった▼初めての参加だったけれど、みんなと仲良くなれたしいろいろな活動できたから▼コロナでできるか心配だったけどできたから！みんなのうれしい顔が見れたから！▼色んなメディアに出れたから▼リーダーとしてまとめられたから、などがありました。

今年はミニミニカワやミニカワごっこで直接現金で買ってくれる人がいました。自分がつくったものが、知らないひとにもよるこんでもらって買ってもらえるって感動するよね！

来年も参加したい？ も100%！



こども運営メンバーに、来年も参加したいですか？とたずねたところ、参加しない、したくない、という意見のひとは一人もいませんでした。来年も運営メンバーとして参加したい！という人が多かったです。

理由は、▼楽しかったから▼つぎは絶対にリアル開催したいから！▼3年間メンバーとしてやってきたからこれからも裏方を続けたい▼もっとミニカワサキについて知りたいし、かっこよかったから▼今年のことを生かして来年はさらにもっと良くしたいので▼こどもビールの発売や市の人の役割など実現してみたいから▼作品作りが楽しいから▼運営メンバーとして参加者へ働きかけができることが楽しいから▼会議は楽しかったしなかよくできるし、いろいろかんがえられたから、などがありました。たのしいことを考える会議はやっぱりたのしい！はじめて参加した人も4年やっている人もそれぞれ楽しみ方があって、やりたいことがあって、来年のミニカワを楽しみにしてくれています。さらにパワーアップしたミニカワにご期待ください！

いちばんたのしかったこと

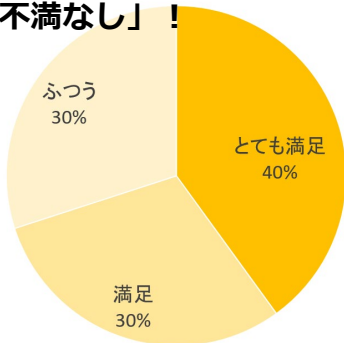
こども運営メンバーに、5月からの活動の中で楽しかったことはなんですか？とたずねたところ、▼実際に国際交流センターでお店をだして現金でかってもらえたこと▼みんなで議論すること▼できないと思っていた会場開催が規模は小さかったけれど少しお客さんも入れてできたのがとてもうれしかったです。その中の投票でランキングが1位になったこともやりがいがありました▼いろいろなメディアにでられたこと▼ビーズでたくさん自分の考えた作品を作るのが楽しかった▼自分のお店を立てられたことと、友達と仲良くできたこと！、という意見がありました。ミニカワサキは、イベント当日だけじゃなくて、みんなで話しあったり、おべんきょうしたり、考えたり、タウン紙やラジオで宣伝したり、チラシをつくったりするのも楽しみだね。

来年へ向けての改善点

こども運営メンバーに、来年へ向けての改善点をたずねたところ、▼最初のころ、オンラインショップだけなのかとか先がまったく見えなかった▼知らない人、高学年が少ないなどがありメンバーたちと関わるのが難しかった、などがありました。昨年につぎコロナでどのようにミニカワサキを運営するかに揺れ動いた一年でした。そんななかでも、いろいろなことを考えて、つくりあげてきたことだから100点満点！改善点というよりはやりたいことをたくさん答えてくれました。▼リアル開催一択！！▼来年は実際にミニカワサキをやって、宅配とかもしてみたい！▼料理系のお店をやって欲しい！▼友達とか家族を呼んで開催したい▼来年はビーズのクオリティを上げたり編み物を販売してみたい▼今度はいっぱいの人に来てもらえるミニカワサキをしたい、来年は、ともだちやきょうだいをたくさん集めて、リアル会場で開催したいね！

ミニカワサキ2021こども運営メンバー保護者アンケート（回答者10名）

保護者からみても、「不満なし」！



こども運営メンバーの保護者に、お子さんの参加についてどうでしたか？とたずねたところ、「とても満足」「満足」が70%、「不満」の人はいませんでした。「ふつう」が30%なのは、長年参加しているメンバーが増え、保護者の期待値もあがっているのかも。お子さんが参加している様子を見ていて、印象的だったことをたずねたところ、いろいろなお意見をいただきました。

▼仲良しのお友達と参加したことで場所見知りや人見知りがありませんでした。とても楽しく参加させていただきました。つくったものを売ったりお店番をすることで少し自信がついたようにおもいます▼ラジオ出演をさせていただきました。普段の生活では関わる事の少ない体験でした▼2年目ということもあり他のこどもメンバーと会話しているのを見かけられるようになった▼自由にのびのびと参加していて、皆さんにご迷惑を掛けていないか心配でした。

▼様々なアイデアを出してそれを実現していく事の楽しさと大変さを経験できてよかったです▼家で宿題をやった後、計画的に作品作りをしていた。日付を頭に置いて計画的に行動できていた▼年々張り切り度が上がっていて、とても生き生きしていました▼去年きちんと参加できず今年念願のミニカワサキだったので、本当に毎回楽しみで楽しくて仕方がない様子がとても印象的でした▼活動は楽しそうにはしているものの、自分で考えて何かを生み出すということに積極的ではない気がしました

こどもたちがミニカワサキにもとめるもの、得るものはさまざまです。ミニカワサキでは、しらないこどもどうしが集まり、まちづくりを考えます。ものづくりや商売体験もできます。参加するたびに新しい楽しさを見つけていきます。日常ではできない楽しさをこどもたちが感じてもらえる場をこれからも用意していきたいです。

おとなの目（ミニカワサキについて感じたこと）

ミニカワサキの取り組みについて親目線での感想、周囲のおとなの声を一部紹介します。

▼オンラインショップで購入くださった方たちが作品のクオリティが高い！と大絶賛でした！！▼自分のお店を出すことを考えてミニカワサキを行い、本当に販売する商品を作ってオンライン上で購入して頂くというなかなか出来ない経験をさせて頂き感謝しております▼こどもたちの町という発想はすごい、療育的にもよい活動である、こどもたちがつくったものを販売できるなんてすてき、など驚きや誉めてもらうこと多かったです。その反面、ホームページ読んだけどよくわからない、なにが宗教ぽい、よくわからない団体で、こどもが販売したりするのは大丈夫なのかという心配の声も一部いただきました。私自身もはじめての参加で、通常開催とちがったものの、こどもは楽しんでいたので、ちゃんとよさが伝わるといいなあとおもいます▼ミニカワサキでは様々な学校の様々な学年の様々な子どもたちと触れ合えるので、とても貴重な機会をいただけて大変嬉しく思っております。日々の中ではなかなかさせてあげられない子供中心の時間の流れはとても面白く魅力的で、大人の私はどこまで手を差し伸べていいのかよほど考えさせられます。親子共々成長させていただけの貴重な時間を本当にありがとうございます

来年へ向けての改善点

来年へ向けての改善点をたずねたところ、いろいろなお意見をいただきました。

▼コロナで実施環境がコロコロ変わるので臨機応変にやることのあるのは良いと思う。子供がもっと主導的に会議を開催したり、意思決定したりできるようにしたい▼活動予定が早めにわかるとありがたいです。仮でいいので、年間スケジュール先にいただけると助かります▼スケジュールの変動が多く周知もぎりぎりなので予定が組みづらい面がありました。とくに学年があがると、スケジュールがはっきりしないのは参加しづらいだろうとと感じます。公式LINEにかくとお返事いただけたのですが、どなたから返信いただいているのかわからなかったことと、スタッフさんによって認識がちがうのか回答がちがうこともあり、結局どっちなんだろうと迷うこともありました▼コロナが落ち着いたら2019年の時のような感じで開催してほしいです。

「大人口出し禁止」のルールを定めているミニカワサキ。その理由を理解し、応援して下さる保護者の存在も、ミニカワサキでは欠かせない存在です。コロナ影響で予定が変わったり、代わりにイベントを開催したりと、スケジュールが定まりにくく、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。来年へ向けてご意見を活かしていきたいと思えます。

事業収支

(単位:円)

収入の部		小計	決算金額
項目	摘要		
参加費	こども実行委員参加費	30,000	75,000
	こどもクラブメンバー参加費	45,000	
販売	7/17 たちばなフェス 売上	35,540	92,907
	8/21 ミニミニカワ 売上	1,450	
	10/10 ミニカワごっこ 売上	6,400	
	10/24 キッズマネーステーションWS一般参加費	3,500	
	11/20 ミニミニカワ売上	7,170	
	3/1 オンラインショップ利益	38,847	
補助金・助成金			300,000
	かわさき市民公益活動助成金	300,000	
その他収入			4
	ゆうちょ銀行利息	4	
当期収入合計			467,911
団体負担金(前年度繰越金から)			294,731
合計			762,642

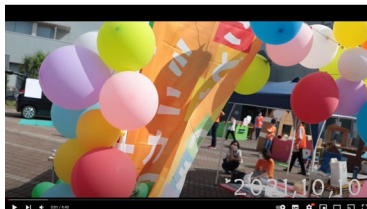
BASEのサイトの決済手数料、サービス利用料、振込手数料、送料などを差し引いた額を収入としています

支出の部		小計	決算金額
項目	摘要		
人件費			20,000
	講師謝礼	20,000	
交通費			41,300
	大人交通費、駐車場利用料等	41,300	
使用料・賃借料			173,630
	HP維持管理費	7,848	
	ZOOM有料会員費	24,200	
	ポケットWIFI 使用料	18,942	
	会議室使用料	117,640	
	その他貸借料	5,000	
印刷費			116,340
	関連資料印刷	18,500	
	外注印刷費	53,510	
	報告書 印刷費	44,330	
通信費			10,260
	郵送費	10,260	
消耗品費			75,643
	製作材料、必要備品	58,900	
	その他消耗品	16,743	
雑費			24,061
	こども会議 お茶・お菓子代	23,841	
	振込手数料	220	
保険			4,760
	こども会議 保険代	4,760	
当期支出合計			465,994
次年度繰越金			296,648
合計			762,642

来年も続けられるように
お金を繰り越すよ!

プロモーションビデオを作成しました♪

ミニカワごっこで撮影した動画をもとに、ミニカワサキプロモーションビデオを作成しました♪是非ご覧ください。
YouTubeミニカワチャンネルの他の動画もみてね！



かわさきコミュニティチャンネルで紹介されました♪

ミニカワごっこ取材してくださった川崎市市民文化局のみなさんによる「かわさきコミュニティチャンネル」で紹介いただいています。
YouTubeでご覧いただけます。



大人運営メンバー

安西 卷子
市村 あつ子（会計監査）
大城 英理子（代表）
奥蘭 亜希子（副代表）
須山 智子
袖山 佳（会計）
菱倉 英一（副代表）



Special Thanks

株式会社インフィールドデザイン
川崎市国際交流センター
川崎市中原区役所
川崎市役所
かわさきFM かわさきDOWN STREAM
かわさきFM こすぎスイッチオン
Kid's Money Station
トビラ株式会社
NPO法人ミニシティプラス

こどものまちミニカワサキ2021

主催：こどものまちミニカワサキ2021実行委員会
後援：川崎市教育委員会
助成：令和3年度かわさき市民公益活動助成金



この報告書は、令和3年度かわさき市民公益活動助成金で製作しました

また来年！



発行日：2022年3月20日

発行：こどものまちミニカワサキ2021実行委員会

E-mail：minicity.kawasaki@gmail.com

Web：https://www.minikawasaki.info/

本書から転写、転載、複製する場合はお知らせください